

第20回 札幌市自立支援協議会 概要

日時：平成25年11月15日（金）18：01～20：28

場所：視聴覚障がい者情報センター 2階 大会議室

0 開会

(1) 部長挨拶

めまぐるしい法律の改正、虐待防止法、優先調達推進法、精神保健福祉法、障がい福祉計画の改定等がある。協議会の協力をお願いしたい。

(2) 事務局説明

配布資料の確認、委員出席情報の確認

会長が欠席のため、要綱第4条に基づき岡本副会長に議長をお願いいたします。

1 情報提供

(1) プランの改定について 事務局

資料1に基づき説明。

委員

施設職員、病院職員から本人への聞き取りで、本音と言えるかどうか？まちづくりサポーターの聞き取りは良い試みだと思う。29か所の施設の聞き取りも他の方法で検討してほしい。

事務局

前回の聞き取りでの意見を踏まえて、まちづくりサポーターによる聞き取りを2か所で実施。今後も結果を踏まえながら、検討していきたい。

委員

児童福祉法に関わるサービス量などの掲載はどうか？

事務局

手法については、他の政令市の状況や国の動向も踏まえて、検討していく。

委員

まちづくりサポーターによる聞き取り調査は、直接行い、それぞれ10名に対して行った。1時間という時間でなかなか、もっとゆっくりと丁寧に時間をかける必要がある。初めての

ことで大切なことなので、今後広げていってほしい。

(2) 優先調達法 事務局

資料 2 に基づき説明。

(3) 身障・知的相談員 身体障害者更生相談所及び知的障害者更生相談所

資料 3 に基づき説明。情報提供というよりは協力をお願い。

各相談員の周知及び地域部会への参加をお願いしたい。具体的には相談員名簿を各部会の事務局に提供するので、最低限、情報交換会や勉強会等への参加や、年度当初の顔合わせの機会を作ってほしい。今後の予定として、26年3月で現在の相談員の任期が満了するため、3月に新相談員が決定する。その後、各地域部会へ名簿を配信したい。改めて具体的な説明をお願いしたい。

委員

相談員になりたい人はどうすればなれるのか？

事務局

現在は身体障害者福祉協会に身体障害者相談員としての人材を見つけてもらい、推薦してもらっている。各区役所はその推薦をもとに、調整を図りながら相談員をお願いしている。今後相談員になりたい、ということがあれば、対応を検討していきたい。

委員

身体障害者福祉協会に加入していないとなれないのか？

事務局

そういうことではないが、相談員の委嘱は要綱で定めており、人望と経験を有していればなることができることになっている。

委員

当事者でありながら、こういう相談員がいることを知らなかった。資料によると当事者または家族が相談員となっているが、連携をお願いしているのは市に対してか、地域部会に対してか？

事務局

各地域にいる相談員を地域部会に参加できるようお願いしたい。各地域部会でどう連携をしていくか考えていただきたい。

委員

相談員の労働条件はボランティアか？

事務局

ほぼボランティア。事務費、交通費として年間 24,000 円支給している。相談があると電話や自宅で相談を受ける。

委員

かなり古い法律なのか？

事務局

昭和 42 年からの制度。相談員の PR も委任した時に年 1 回の PR。この機会をもとに、地域部会へ参加させていただき、ネットワークを図っていければと考えている。また、PR 機会を増やしたり、身体障害者手帳の交付時に名簿を配布するなど検討していきたい。

委員

こういう交流が増えていくのはよいことだが、各部会が立ち上がった時の規約があるので、規約改正が必要な部会があるかもしれない。オブザーバー参加でも構わないか？

事務局

その点は各地域部会にお任せしたい。

委員

現実的には相談員ということで、相談支援事業所との連携が必要になると思うが。

事務局

相談員が受けた相談内容によってはご協力いただくこともある。

委員

各地域部会にて話し合った結果をどこに返事すればよいか？

委員

こちらから声をかけないといけないのか？

事務局

まず今回、事業の説明とお願いをさせていただいた。次に 11 月 27 日に相談員向けの

研修会で協議会のことを学ぶ予定。詳細についてはこれから検討していきたい。

進行

大筋のところはOKということによろしいでしょうか？

⇒異議なし

各地域部会での連携方法は各部会で検討していただき、オブザーバーなどで参加をしてもらおうこととする。個人的には今後の相談員向け研修の中で説明があると思うが、積極的に参加してくださいと働きかけていただければと思います。参加して何も発言がないでは意味がないので、積極的な発言をお願いします。

2 報告事項

(1) 各部会報告

ア 中央区

健康フェスタの結果について補足。例年の福祉機器の展示に代えて、お休み処を開設した。事業等のボランティア協力もあり、映画上映コーナーもぬくもりサポーターの研修の場にしてもらった。施設からの提供ということでアガペハウスからクッキー等の提供、サントリー、セイコーマートからの飲料の提供など。

10月の定例会では、特別支援教育の話をしてもらい、数字データも紹介してもらった。今後は学校と地域の連携を図っていきたいと話していた。11月は被災された障がいのある方の参加をお願いしたが、まだ震災から日が浅いこともあり、被災地支援を行った団体を呼ぶことに。1月は住むところの勉強会を、不動産会社を招いて行う。障がいのある方には実際に困ったことも話してもらうことを計画している。

イ 北区

定期的に活動。特筆すべきは、今年から子ども部会を設立したこと。子どもに関わる人の世話人会。シリーズで学習会を開いており、子ども部会第2回のイベントとして、学齢期の支援について学ぶ予定。12月10日に自殺予防の話を用意、決まり次第、チラシを配布します。課題の整理は地域で暮らす、というテーマから、町内会との接し方を考える、また交通問題として、JRでお困りになられた方の話をもとに、検討していきたい。

ウ 東区

障がい者の住まいを探すことはとても興味の深いものであると実感。決して区の問題ではなく、市全体で取り組みを行ってほしいと期待の意見が多かった。この中で3つの課題が。一つは一人暮らしの不安、自分が住んできた地域で探したい、次に物件の条件、今まで自宅で受けていたサービスを同じく受けられるように探したい、情報

の保証、障がい者がアクセスしやすいような情報がほしい。最後に不動産とのつながり。土田氏は物件見学会を行っており、また行ったほしいなどの意見もあった。大家や管理会社が障がい者をよくわからないがためにおこる問題が大きい、相談支援事業所がかかわっている、サービスを使っているなどの暮らしの履歴書があるとよい。実際に国のあんしん賃貸事業や市町村の居住サポート事業なども活用して。6つの課題を整理してまちの課題整理プロジェクトチームへ上げていきたい。他に市営住宅の単身入居の件で、知的・精神の入居ができないことになっているので、その改善に向けて。もう一つは指定特定相談も委託相談と同じような相談が入ってくるようになってきている。報酬にならない相談も多くなっている所以、そういった相談にも報酬がつくような改善を国全体の課題になるが、考えていきたい。2月22日に昨年度と同じく福祉マルシェを開催予定。

白石区

部会報告に追加で、白石区もウェルフェアカフェを実施。9月に第1回目、孤立について、11月7日に第2回目、自殺対策をテーマに。企画段階から地域部会も加わり、区の自殺対策事業と連携して、講師をシーズネットの奥田氏を招いて、講演とグループワークを行った。80名程度と多くの方が参加し、介護保険、病院、施設、行政書士などの参加もあった。

厚別区

委員欠席のため資料のみ

豊平区

重点課題に力を入れて活動を行っている。今年度初めての活動としては、今まで居住系の方の話がなかったので、8月に居住系のサービス事業所の世話人さん茶話会を開催した。夕方だと世話人さんが支援に入っている所以、今回は昼時に世話人さんだけに限り集まってもらった。通常日中一人で支援しているので、他の支援員との話や工夫点などを共有し有効な話があった。次回の開催も考えていきたい。9月の当事者を交えての話というものも初めてだった。当事者を交えて課題を抽出したことは非常に良かった。部会で動ける課題とまちの課題整理プロジェクトチームへあげる課題とを分けて進めていきたい。10月は”とよひら福祉フォーラム”と映画の上映会。主演の倉田氏を招いてトークショーと合わせて開催した。ちなみに、倉田氏は来年結婚10周年で北海道にいらっしゃることが決まっている所以、他の部会でもどうぞご活用くださいとのこと。

清田区

年3回の全体会に向けて、事務局会議等を定期的に開催。12月から1月にかけての第2回全体会、年度末に第3回全体会、清田区障がい福祉関係者等ネットワーク会議との共催でも会を開催予定。今年度のトピックスとして、10区で最後の事業所マップ作製に取り組んでいる。清田区内の就労事業所で印刷などの製作を行う予定。毎年変わるので、冊子にするか、DVDにするか、検討中。研修の内容は実際に現場で携わっている人が聞きたいような内容を決めたいと思っているので、他の地域部会の協力をお願いいたします。

南区

子ども部会で発達をテーマに研修開催を希望する声があり、後期の3部合同研修は発達障がいをテーマに行う。2月にもおがるを講師にグループワーク等も予定している。公開の事例検討会も開催。委員のためのスキルアップのために保護観察所の方を招いた勉強会を開催今までは人を集めてくる部会だが、これからは人が集まってくる部会にしていきたい。ネットワーク部会では医療ソーシャルワーカー協会からの講師依頼があり、12月に医療ソーシャルワーカーの研修会に講師として出る予定。南区のガイドブックをCDで作っていたが、冊子がよいという声があり、冊子にする予定。

手稲区

地域のお祭りの縁日への参加。地域課題はまとめ方に苦勞している。事業所から上げてもらったものは、しっかり返そうと考えている。様々な意見が上がってきているので、どのようにまちの課題整理プロジェクトチームに上げていくか、が密になっていく。3月に学習会を開催する予定。年度単位で途切れることなく、積み重なった部会活動へ。障害者週間に合わせて、JR手稲駅の自由通路に事業所のパンフレットを置くことに。

西区

西区という大きい単位ではなく、もう少し小さい8つの町内会ごとに検討していこうと。アンケートでたくさんの地域課題が上がっている。それを8つの地区で検討。専門家チームを作って、答えの出せることは出していく。明日、ふくし元気西区（まち）マーケットを開催予定。チラシを追加配布。社協を通して、企業からお菓子の協賛もあり。1月の会は140名程度参加予定。それぞれのグループの研修会と位置付けて、集まってくる。その後の名刺交換等の交流にもつなげていく。

別に、地域部会の予算の使い道について。区民センターを借りる際に、物販すると倍の賃料がかかる。予算の枠内で使えるのであればいいと思って、かなり交渉したが使えなかった。必要に応じて活きたお金になっていけばと思う。せっかくお菓子の協賛を得たので、飲食コーナーを作ることにしたが、それもかなり交渉に手間がかかっ

た。そういったコーナーを作りたいということは通らなかった。明日の経費はすべて寄付で賄うことになりました。

進行

まず地域部会関係で意見があれば。

委員

予算は簡単に使えましたか？

委員

かなり交渉した。

委員

地域部会でお金が出ているのに、使ってはいけない？ということか？

委員

予算としてあるが、区民センターで2倍かかるのであれば、税金の使い道として認められないと。倍貸しで借りることはいけないことなのか？そもそも公共性を考えると区民センターも倍を取るのか？ということも考えられる

委員

せっかくならと、販売とPRを検討したが、賃借料が倍になるので、会場費を払ってまでやるか？となる。結局パンフレットだけを置いてやっている。

進行

お金の話題もまちの課題となるかもしれないが、時間のこともあり、一度持ち帰り？ということをお願いしたい。

相談部会

会長、副会長の改選があった。事務局会議をほぼ毎月開催。事例検討と研修の各プロジェクトチームが活動。そもそも相談支援についての研修等。また、基幹相談支援センターが10月から始動している。毎月、サービス等利用計画についてや相談支援事業所から上がってくる課題の整理や委託相談支援事業所間での情報共有ツールの必要性等を話しあっている。一番大きな課題としては、委託相談支援事業所のあり方を検討する会を任意参加で開催している。各相談室の実態調査を行っており、そこから見えてきた課題を含め話しあっている。

就労支援

定例会の開催、ジョブコーチ研修会の開催、中小企業家同友会との連携による講演会等を開催。また、今年度から厚生労働省北海道労働局の方も委員に加わっていただいている。他に、就労移行支援事業所へのアンケート後、5つの就業・生活相談室が聞き取りに回り、ヒアリングをしていき、結果をホームページで公開する予定。

子ども

市内のショートステイの実態調査、市内の保育所・幼稚園に様々機関が訪問して支援しているので、連携して意見交換を行う予定、また、幼保小の連絡会に児童発達支援事業所も参加できないか、ということをお話している。また、社会的養護が必要な児童に関する関係者が集まることも検討している。子ども部会と直接ではないが、児童発達支援センターが就労支援推進部会のように市内 200 か所の児童発達支援事業所等へのアンケートを行い、結果を公開する。

運営会議

今年度 3 回開催。4月に全体会を振り返り、まちの課題整理プロジェクトチームの開催に合わせて運営会議も偶数月に開催し、バックアップすることにした。また、障がい福祉課も全体会の席に就くことにより、進行をお手伝いすることになった。6月にまちの課題整理プロジェクトチームの進捗管理を行った。その中で、児童と教育に関する課題がたくさんあったので、勉強会を立ち上げて集中的に議論しようと運営会議に諮りました。また、東区への課題整理の状況をフィードバックすることについても意見をもらった。9月も同様にまちの課題整理プロジェクトチームの進捗管理を行った。特にヘルパーの技術向上のための研修会開催について、地域部会にアンケートをすることについて議論して頂いた。

まちの課題整理プロジェクトチーム

4月から 11 回目まで開催。東区地域部会との意見交換を実施、相談支援部会からも課題の提出があった。また、ホームページでも課題整理の状況を公表した。東区の課題の半分程度を整理している状況で、外部の方を招いて意見を伺ったり、東区にも状況をご理解いただいていると考えている。特に見て頂きたい課題が No.1 のヘルパー技術の向上のための研修についてで、一度アンケートを行い、開催について検討していく。次は No.4 の児童の通学について、また関連して学内の支援について、検討会を開催する予定。

委員

ヘルパーの研修に関するアンケートは事業所にも行うのか？

事務局

まずは地域部会へのアンケート。そのあとは必要に応じて、事業所などをお願いする場合もある。

進行

今回のアンケートを機に。各部会での意見交換にも繋がればと考えている。以上、報告はすべて終わりになります。その他に何か、ありませんでしょうか？無ければこれで終了いたします。

事務局

他になければ、以上で第20回自立支援協議会を終了いたします。ありがとうございました。

20：28 終了